新しい家具が届きました！

多機能サポートランドさわおとの森

（Wood・もっと・みやぎ県産材需要創出事業）

新型コロナウイルス拡大の影響により減少した宮城県産木材の需要創出事業である「Wood・もっと・みやぎ」の令和２年度の審査に通り、１５０万円の助成を受けて多機能サポートランドさわおとの森で主に生活介護と短期入所で利用する、オーダーメイドの木製テーブル４台と同デザインの椅子１２脚、ベッド１２台を発注し令和３年３月に納品されました！県内の職人の手による堅牢な造りの家具は手触りもよく、実際に使っていただいている利用者の皆様にも大変好評です。

木の温かみ、やさしさが感じられる家具は自然に囲まれながら運営している多機能サポートランドさわおとの森の雰囲気とも合っており、今後も手入れをしながら大事に使い続けて快適な環境を保っていきたいと考えています。

助成で送迎車両を購入しました！

利府こども発達センター

（2020 年度年賀寄付金配分助成事業）

日本郵便事業株式会社様より購入費の助成を受けて「日産セレナ福祉車両（スロープ車）」が令和２年７月に納車されました。児童発達支援「どんぐり」、放課後等デイサービス「あのね」や短期入所「みんなの家」の送迎や活動に活躍しているところです。法人さわおとの森とともに歴史を重ねてきた公用車両も、一部が老朽化の時期を迎え、代替購入を迫られています。改めて、こうした車両購入の助成事業はとてもありがたいものだと実感しています。新しい車両には各種安全に配慮した機能や快適に乗車できる工夫が施されておりますが、ハンドルを預かる私たちスタッフもより一層気を引き締めて業務に臨みたいと思います。

賛助会へのご加入のお願い

当法人では、設立当初より皆様の温かいご寄附及び賛助会費のご協力をいただいており、厚く御礼申し上げます。この寄付金・会費は法人事業各所での遊具・設備購入や建設・修繕費に充てさせていただいております。

大変不躾ながら、今年度も皆様のご協力を賜ることができますようお願い申し上げます。

（編集後記）

何かと「耐える」ことが必要な世情ではありますが、法人さわおとの森が安全を守りながらも前へと進もうとしている様を、今号の記事で少しでもお伝えすることができたならば幸いです。

最後までお読みいただきましてありがとうございました。

さわおとの森　法人企画部一同

令和３年５月　第２９号　　発行責任者：理事長 清野精維

認定ＮＰＯ法人さわおとの森

広報 さわおとのもり

理 事 長
清 野　精 維

一年のうちで最も爽やかさを感じる時節、心ゆくまで清新の気を与えてくれる季節、それが5月です。

人は仕事をする時と同様、遊ぶときにも、熱中し徹底して楽しむことが肝要と云われ、「古人乗レ[リテ]燭ヲ[ヲ]夜遊ブ良ニ[ニ]有レ[ル]以也」と500年前の〝李白〟も春夜宴ニ[スルノ]桃季ノ園ニ序で詠んでいます。

しかるに、2000年から20年もたった今現在、その名句名言を発した国を発祥とする新型コロナウイルスが世界を席捲、日本国内だけでも感染者数累計65万人超、死者数1万1千人となっています。

国境は勿論、県境さえも閉鎖に近く、各種大会、イベント等も中止、順延が繰り返し続けられている状況です。

個々人的にも、外出の自粛、5人以上の人の集い、飲食の禁止、夜8時以降の営業返上等、社会全体が硬直気味、逼塞(ひっそく)に近いような生活が続いているところであります。

我が法人内は如何だったかというと、マスク、手洗いうがい等の感染予防対策をいち早く実施しているものの、やはり2件程身内の人の職場等での感染発症が出てしまいました。

しかし、近隣者発症時等の対応指針を事前に園毎に確認していたこともあり、接触者と思われる十数人のPCR検査の結果は全て陰性であり、長くても2日の予防休園で済み、現在に至っております。

とは申せ、全国的にみれば5月の連休明けの時点でも、政府による4都道府県の緊急事態宣言は2県を追加して5月末まで延長され、蔓延防止等重点措置も部分解除があったものの仙台市他新たな2市は継続されています。

去年の今頃も夏になればウイルス感染は終焉し、緊急事態から解放され、オリンピックも開催されるものと皆で予想していたものでした。

しかるに、豈図(あにはか)らんや二次、三次そして新たな変異ウィルスが陸続と現れ、あっと云う間に2年目に入り、世界的脅威は衰えることを知らぬままに罹患者を増やし続けています。

こうなると、政府、地方自治体の提唱する予防の基本的なマナーの他に、何か個人的に付け加えてやる可きことは無いかと親しい、同期の医師に聞きました。

すると彼は、寝る時を含め常に居住いを糺(ただ)し寒暖差に対応すること、逆に仕事や学校以外の日常日活の中で萎縮閉じこもりしてテレビばかり見ているということの無いように、一日一万歩とは云わないが、せめて3000歩歩くこと、そしてバットやラケットにカヴァーをつけ空気抵抗を増やして素振りすること30回、バックスイングでもやれば尚良い20回、そして加えるに腹筋運動、横向きやひねりを加えて30回、回数を減らしても、出来ない日があっても、一日おいて再挑戦し長く続けること。

そして今の時期、最も大切な事は、冬の間に代謝が落ちた身体を春野菜で目覚めさせ、心身ともに活性化してゆくことが肝心とのこと。

その春野菜にはどんなものがあるのか、若い栄養士さんに聞きました。

一、「蕨(わらび)」食物繊維が多く腸の働きを活発化する、脳の血管年齢を若返らせる働きもある
二、「筍(たけのこ)」腸を整える、独特の“えぐみ”は「チロシン」という成分で老化防止や脳の活性化に効果が大です。
三、「蕗(ふき)」咳を鎮めたり痰や鼻水を抑える効果も、花粉症にはお勧め。他に独特の香りで胃酸の分泌を促し消化を助ける働きも。

他に薇(ぜんまい)、楤(たら)の芽、菜の花など、特に山菜全体に代謝促進、心身活性化の働きがあるとのこと。

国のワクチン投与もこの5～6月に高齢者に行きわたり、7～9月には全世代の人が受けられる、と云われておりますが、それに大いに期待しつつ、オリンピック開催にも少しの希望をつなぎつつ、国・地方の推奨する対策すべてを実行しながら、軽めの運動を長く続けること、春野菜、特に山菜を近くの野山に出かけては摘んで来ること、山里が遠い人はスーパー、八百屋の店頭をわたり歩いて積極的に新しい山菜を求め、心身の新陳代謝と血行促進に努め復活してくる健康社会に備えましょう。

宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業について

2019 年度より始まりました『宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業』についての内容をご紹介いたします。

宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業は，宮城県保健福祉部精神保健推進室による実施要綱の「目的」に，

> 発達障害児者（発達障害が疑われる児者を含む）及びその家族に対し，障害特性やニーズに応じた専門的支援を身近な地域で提供するとともに，地域における発達障害児者支援体制の構築の推進を目的とし，市町村及び県が設置する発達障害者支援センター等と連携した県内における重層的な発達障害児者支援体制の構築を図ること

と明記されております。

つまり，発達障害のある方とご家族の多様なニーズにお応えするため，支援体制の充実・強化に向けた取り組みを開始するにあたり， 市町村等を一次支援機関，県内 7 障害保健福祉圏域での発達障害者地域支援マネジャーを二次支援機関，発達障害者支援センター（「えくぼ」と子ども総合センター内）を三次支援機関と位置づけ，相互に連携しながら支援体制づくりを目指すものとしております。

配置事業が始まってから2年間，当法人は，市町村と県の間に位置する二次支援機関として，塩釜市・多賀城市・七ヶ浜町・松島町・利府町，そして富谷市・大和町・大郷町・大衡村の 9 市町村の地域の方々の支援活動に従事して参りました。

具体的な取り組みとしては，平成 29 年度より県から受託しています障害児等療育支援事業「あとれ」で受けた相談について，心理職・リハ職，各福祉事業所等や市町村の担当者と連携して，支援や相談の助言をして参りました。昨今は複雑な事情を抱えた困難事例の件数も増えてきており，より一層の連携した取り組みが求められてきているのを実感しています。また，昨年は家族支援を目的に「ペアレント・プログラム」を県や各関係機関からのご協力を得て開催することができました。今後は，各市町村で実施できるように少しずつ取り組みを進めていきたいと思っております。また，研修企画や教育機関・医療機関との連携も構築していくことをめざしております。

当法人は，平成18年度から地域に根ざした支援を心がけて参りましたが，その初心の理念を忘れずに，地域連携の新たな架け橋となるよう日々精進して参りたいと思っておりますので，どうぞよろしくお願いいたします。

宮城県発達障害者地域支援マネジャー
齋 藤　　純 子

宮城県発達障害者地域支援マネジャー
今野　智恵美

齋藤　純子

地域拠点センターふきのとう

「地域拠点センターふきのとう」は、2市3町からの委託事業として5年目をむかえました。

今年度は、

① 地域生活支援拠点等事業としての緊急の相談・駆けつけ・預かり

② 基幹相談支援センターとして地域の相談支援事業所のバックアップ

③ 宮城東部地域自立支援協議会の運営事務局

NEW ④ 計画相談支援

を行っていきます。

療育支援事業
あとれ・あとれ黒川

日々の子育ての不安や悩み等について、お気軽にご相談ください。

当事業のスタッフです。お住いの地域によって「あとれ」、および「あとれ黒川」のいずれかでご対応させていただきます

保育士
伊丹　正美

保育士
佐々木　正美

作業療法士
工藤　理恵

作業療法士
高橋　麻理

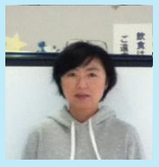
言語聴覚士
山田　美咲

公認心理師
安藤　のぞ美

あとれ・あとれ黒川でご協力いただいている、外部専門職の先生方です

言語聴覚士
鈴木　和子

言語聴覚士
伊藤　洋子



公認心理師
冨永　恵子

公認心理師
岡　里美

言語聴覚士
渡部　朋子

公認心理師
安野　純子
今年度より森の相談室でお世話になります。

多機能サポートランドさわおとの森

令和３年４月から園長に就きました本田です。前任者同様、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この度、令和４年度に向けて「多機能サポートランドさわおとの森」は移転に向けて準備させていただくことを、ご利用の方々、ご家族、関係機関の皆様にご報告させていただきます。

きっかけは、令和元年１０月１２日に宮城県を直撃した台風１９号でした。戦後最強クラスと言われたその台風は、崩れないと楽観していた裏山傾斜地の表層を崩し、利用される方や職員にも大きな不安を与え、今以て続いている状況です。令和元年１０月から始まり、何度も検討の場を重ねてきました。“移転地を見つけられたこと”“国の施設整備事業費助成金の交付内示をいただけたこと”が移転の決め手となり、今年３月の法人理事会でも承認を得ることができました。

令和３年度中は現地で運営をしていきますが、裏山の傾斜が気になるところになります。地質の専門家からは、表層の一部が滑落しているものの、一度崩れた現状が地盤として一番落ち着いており、長い期間の大雨や想定外の大地震などがなければ早々に対応が必要なところではないと助言をいただいております。何か手を加えることはせず、日々の視認と、避難訓練等を徹底し、万が一に備えていきます。今後、梅雨や台風の時期を迎えます。あらかじめ土砂災害のリスクが高まることが予想される場合には、事前の送迎や利用自体を調整させていただく場合があるかもしれません。その際はご協力をいただきたいと思います。

【建設予定地】利府町沢乙字寺下２０、２１

＜ 職 員 紹 介 ＞

総勢２７名となります。
元気いっぱいがんばります！

利府こども発達センターから異動してきた“佐藤翔之”です。
元気に楽しくがんばります！よろしくお願いします。

村上栄一　村塚幸子　本舘千枝　仙石恵　中村梓音　増森和彦　小野寺智　砂田元子　高橋ふみ栄　氏家美恵　清水美帆
高坂康子　赤坂里穂子　佐々木弘子　菅原まき子　小野真澄　森美恵子　高橋ルミ　太田安里紗　宮下麻美　佐藤優希
伊藤達也　佐藤祥　本田惣樹　佐藤翔之　相澤順一　渡部史起

今年度より統括主任に就きました相澤です。昨年度までは短期入所を担当しておりましたが、放デイ・生活介護・行動援護等にも携わっていければと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

統括主任　相澤

放課後等デイサービス
くるみクラブ

今年度もまん延防止等重点措置から始まり、予断を許さない状況ですが、コロナ感染症対策をしっかりと行い、子供達が安心・安全に楽しく過ごせる場所を提供していきたいと思います。

主任　伊藤

短期入所・
居宅介護・行動援護

人と人との距離を保つことが求められている昨今だからこそ、気持ちはより近づくことができるように温かい支援を目指していきます。集団でも（短期入所）、個別でも（居宅介護・行動援護）笑顔が絶えないさわおとであるように！

主任　佐藤

生活介護わのみ

今年度も楽しく生活しています。

「親なきあと」の企画についても、着実に進めていますので、今後の情報をお待ち頂ければと思います。

主任　渡部

塩釜市ひまわり園

園長挨拶

令和3年度のひまわり園は、新卒職員を迎え、初めて男性職員が3人となりました。長くひまわり園を知る職員が異動になりましたが、ひまわり園の良さを残しながら、療育や支援の在り方を考えていきたいと思います。子どもたちと一緒に泣いたり笑ったりしながら楽しく活動し、出来ることを少しずつ増やしていきたいと思います。

感染症対策として換気、消毒などの環境整備を整えながら、安心して利用していただけるように配慮していきますので、新しいひまわり園をよろしくお願いいたします。

職員紹介

園長　藤原　洋子

異動

リーダー　佐野　ひろ子

異動

保育士　佐藤　千裕

佐藤　優子

久光　志帆

児童指導員

髙橋　辰徳

新任

遠藤　義央

児童発達支援　ひまわりキッズ

未就学児を対象として活動しています。換気やおもちゃ等の消毒を徹底しながら、子どもたちが楽しめる活動を企画しています。昨年はコロナウイルスの影響により、行えませんでしたが、併設している保育所と交流会なども行っていく予定です。

活動紹介

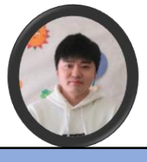
放課後等デイサービス
ひまわりクラブ

小学生から高校生までの学童たちが通園しています。買い物体験やおでかけなどコロナ禍ですが、様々な工夫をしながら子どもたちが楽しく活動できるよう支援しています。

職員インタビュー

園長　藤原　洋子

Q.名前の由来は？
→太平洋のように広い心を持った人になってほしいという意味です。
Q.出身地と好きなところは？
→松島です。松島湾の眺めが好きです。
Q.最近の楽しみは？
→家族が県外にいるので、帰ってくることが楽しみです。



児童指導員
遠藤　義央

Q.名前の由来は？
→義は家族みんなついており、央はたくさんの人に囲まれて育ってほしいという意味です。
Q.得意料理は？
→とんかつです。アルバイトで4年間作ってました。
Q.最近のマイブームは？
→ランニングです。夜に5～6km走ってます。

こども発達センター　あかいしの森

あかいしの森は、富谷の地に事業所を構え、今年度で7年目を迎えました。児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問・居宅訪問型児童発達支援・相談支援と5つの事業を実施しております。ご利用の皆様から「あかいしの森を利用して良かった」と思っていただける事業所作りを目指し、日々取り組んでおります。

今年度もよろしくお願い致します。

山田裕子センター長

門脇玲子統括主任

児童発達支援 『むーとん』 むーとんは、まめぐみ・はなぐみ・そらぐみ、さらに午後のクラスとしてみちぐみがあります。ここで、むーとんやクラスの名前の由来のお話。まず「むーとん」干支のひつじ年に開園したこと。そしてそのひつじは、家族を大事にする動物で、家族の平和の象徴と言われていることから、命名されました。クラスの名前「まめ」お母さんと一緒にさやの中で、つぼみから「はな」が咲き、「そら」にむかって大きくはばたくように、そしてお母さんと離れても、自分の力で一歩一歩前に進めるようなしっかりした「みち」をつくる‥そんな思いがあります。今年度も、ひつじ“むーとん”のように、おひとりおひとりが平和に過ごせるよう寄り添う支援を心がけていきます。

そら組

はな組

まめ組

野﨑美智子 看護師　川崎由里 事務員

むーとん給食紹介

ご飯、味噌汁、さんまの塩焼き、かぼちゃの煮物、デザート	ロールパン、ポトフ サラダ、牛乳 デザート

パンやご飯・麺などの主食、副食では旬の食材を取り入れたメニューを提供しています。給食は就園・就学のための準備を目標に掲げており、具体的には①食事の幅を拡げる：様々な食材を見る・嗅ぐ・触れることで興味を深め、好き嫌いの克服に繋げています。またお友達と同じメニュー・食器で楽しい雰囲気の中で食べることで食の拡がりを感じます。②一口量を知る：食材をかじり取る、適量をすくい取って食べる練習を促しています。またその子に合わせた食形態を提供しています。

放課後等デイサービス 『ぴーす』

小学生から高校生が通う場所です。今は公共施設の利用が難しい状況ですが、園内外で体を動かしたり、制作や音楽遊びなど楽しく遊んだり学んだりしながら活動しています。昨年度と同じメンバーです！引き続きよろしくお願いいたします。

こども相談支援 つくしんぼ黒川

支援が必要と認められる方々（主に児童）の自立した生活を支え、ご本人等の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて「障害児支援計画」等を作成し、様々なサービスに繋げるための相談支援事業を行っています。

利府こども発達センター

今年は、センターを開所して５年目となりました。昨年度から継続して、新型コロナウイルスの影響を受けてのスタートとなりましたが、各事業それぞれに様々な対策をしながら日々支援に励んでおります。今後も楽しく、そして安全第一に、地域の方たちのためのセンターにしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

共同生活援助「ぼくらの家」 短期入所「みんなの家」

新しく加わった職員と共に、
『ぼくらの家』では、それぞれの生活課題をケアしながら、その人らしさが尊重される“家（ホーム）”づくりを。
『みんなの家』では、ご家族のレスパイトの他、将来自立生活を送るための体験ステイや緊急ショートなど、ご家族の皆様のご要望にお応えできる体制づくりを行っていきます。よろしくお願いいたします。

総務

利府こども発達センター総務です。
新たに髙橋事務長を迎え、利用されている方々やそのご家族との関わりを大切に、明るく元気にがんばります。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

保育所等訪問支援 のびっこ

障がい児が通う保育所や幼稚園、学校等に伺い、そのお子さんがより良い発達や集団への適応を促すため、知識や経験を持つ専門職がアドバイスを行う事業です。
（心理職・作業療法士・言語聴覚士・保育士）

児童発達支援 どんぐり

子ども達が**どん**どん、**ぐ**っと、**り**っぱに
成長していけるよう、職員一同力を合わせて明るく楽しく元気な**どんぐり**で活動していきたいと思います！

放課後等デイサービス あのね

今年もあのねは新しいメンバーを迎えてスタートしました。子どもたちの笑顔と『楽しい！』がひとつでも多く見られるように、職員も元気にがんばります！